

Japanese  
The Manifestation Of The Spirit  
51-0717

## 御霊のあらわれ

トレド オハイオ州 アメリカ合衆国  
1951年07月17日



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

## ウィリアム・マリオン・ブラハム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7

## はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

# 御霊のあらわれ

1 今夜、トレドでの最初の夜に皆さんとお会いできることは、私にとっても同じように大きな喜びであります。

どうかこの時が、私たちすべてにとって素晴らしいひとときとなりますように。神の恵みとその御力が、もう一度ご自分の民の間に現され、私たちの心の中にリバイバルが起こりますようにと願っております。

昨年クリーブランドにおりましたときから、この時を楽しみにしておりました。そこでは、このトレドの町のことを聞きました。私はこれまで一度もこの町に来たことがなく、今回が初めてであります。「いつか来られるでしょう」と言われておりましたが、バクスター兄弟から、こちらに来ることになったと聞いたとき、本当に嬉しく思いました。新しい友と出会い、また懐かしい友に再会できるのですから。

ここでの六日間の滞在が、皆さんにとっても、そして私にとっても、喜びの時となることを信じております。私にとっては、すでにそうであります。ただここに来られたというだけで、もうその喜びが始まっているのです。

2 そして何よりもまず、ここに来られる病んでいる方、足の不自由な方、すべての方を神が癒してくださることを、私は信じております。

必ず癒してくださると信じます。もし私たちがただ主を信じる信仰を持つことができるなら、御業はすでに成し遂げられているのです。

さて、ご覧のとおり、とても暑く、蒸し暑いようです。しかし、天候を支配することは私たちにはできません。それは神がなさることです。

本当に寒くても、本当に暑くても、神のご奉仕の中にいられるなら、私は喜んでおります。問題ではありません。ただ主がそこにおられるなら、それで十分なのです。

3 かつて私たちがよく歌った小さな歌があります。

「主がおられるなら、どこにいても、そこが私にとって天国だ」という歌です。

ヘブルの子どもたちにとって、最も偉大な集会の一つは、燃える炉の中で、あの激しい熱の中に神の御子が共に現れてくださった時だったのではないのでしょうか。

主がどこにおられても、たとえそれが熱の中であっても、恐れの中であっても、ダニエルが獅子の穴にいた時のようであっても、どこであれ、イエスがおられるところが天国なのです。

そして主は約束されました。「ふたりでも三人でも、わたしの名において集まるところには、わたしもその中にいる」と。

今夜、この会衆には二千人ほどがおられるかもしれませんが、主は必ずその御言葉を成就して、私たちと共にいてくださると確信しております。

もし私たちが主の御前に恵みを見いだすことができるなら、主はご自身を現し、超自然的な御臨在によって、ここにおられることを知らせてくださると信じます。

それは、私たちの中には少し不思議に感じる領域かもしれません。

しかし、イエス・キリストは昨日も今日も、いつまでも変わることはない方です。

その力は限りなく、その御臨在は常にあるのです。

4 さて、今夜は最初の夜ですから……皆さん、よく聞こえていますか？

この音響は建物の後ろまで届いていますか？後ろの方、聞こえていますか？

もし聞こえているなら、手を挙げてください。——はい、それで結構です。ありがとうございます。

私はあまり声が強いほうではありませんので……。

もしかすると、少し音量を上げてくださるかもしれませんね。

バクスター兄弟は、私たち二人分くらいの声量を持っていますから、彼の場合は下げなければならない、私の場合は上げなければならないのです。

まあ……私たちの体格の違いもありますからね。

5 さて、この集会がどうなるかは、あなたご自身の心の中で決まります。

この六日間は、あなたにとって大きな祝福にもなれば、大きな妨げにもなり得るのです。

73 心を込めてこう言いましょう、“主イエス・キリストに賛美あれ”。彼女の心を祝福してください。信じますか？心を込めて？さあ見て。そして誰も信じないでください。今、あなたは主の偉大なことが成し遂げられるのを見るでしょう。

哀れな魂。さて、お母さん、数分前にここにいたあなたは、今は気分が良くなりましたね？はい アーメン。言われたことは真実でしたか？そして、あなたはそれについて何も考えていませんでした。なくなった。そうだったのか？それなら、それは神から来なければならないことはわかっていますよね、お母さん？神のご加護がありますように、それでいいのです。

先生、はい、そのときあなたはそれが自分を襲ったと感じましたね。よし、立ち上がれ。はい 先生。心から信じていますか？そうですか？何らかの形で連絡を取ってほしかったのですか？体か何かに異常が起きたら、何か問題が発生します。手の中じゃないの？それは本当ではないですか？それを癒されたいと思いませんか？私が神の預言者だと信じますか？彼の召使い？私があなたに言ったことが真実だと信じますか？

ねえ、あなたの邪魔をしているものが見えます。それは……。あなたには習慣がありますよね。喫煙とかそういう習慣はないんですか？葉巻を吸ってるでしょ？あなたが片手を手に角に立っているのが見えます。葉巻を捨てて家に帰り、元気になって、兄弟よ、神とともに正してください。そうすれば、あなたは主イエス・キリストの御名によって癒されるでしょう。アーメン。神のご加護がありますように。

74 あなたは心から神を信じますか？あなたは今、彼をあなたの癒し手として受け入れたいですか？彼はここにいる。この時、神をあなたの癒し手として信じるあなたたちは、立ち上がってください。手を挙げて言いなさい。“主イエスよ、私はあなたを受け入れます。”

神よ、主イエス・キリストの名において、ここにいるすべての人を癒してくださいように。

私がそうしたら、あなたは信じるでしょう。。もし神があなたの問題が何であるかをここからあそまで明らかにしてくれるなら..?ちょっと立ち上がってください。こんな風に見てほしい。あなたは祈っていました、そして私はあなたが祈っていることに気づきました。注目を集めた。あなたを知らないわ。あなたは私にとって見知らぬ人です。。私たちは見知らぬ人ですか?はい。はい 奥様。これはあなたに衝撃を与えるでしょう、お嬢さん、なぜならあなたはそれが何なのか知らないと思うからです。あなたは癌です。そしてちょっと待ってください。それは…じゃないですか。成長は2つありますよね?それらはあなたのものじゃないですか。… 右側だと思いますよね?成長が2つ、1つはそうです。。はい 先生。そう思ったんだ。よし。あなたは私を神の預言者として信じますか?心から信じなさい。そうすればイエス・キリストがあなたを元気づけてくださるでしょう。神のご加護がありますように、お姉さん。神を信じる。

72 ねえ、あなたの隣に座っている男、それはあなたの夫に違いありません。つながりがあるのがわかります。彼の精神が感謝の気持ちで消えていくのを感じました。それはあなたのフーです。… それはあなたの奥さんですか?もしそうなら、ラ。… そうか?それはあなたの奥さんです。関係性を感じました。

言ってください、あなたも苦しんでいます。破裂してるじゃないか?そうじゃないか?そうなら手を挙げろ?よし。家に帰って心から信じなさい。そうすればイエス・キリストがあなたを完全な者にしてくさるでしょう。神のご加護がありますように、兄弟よ。信仰を持つ。心を込めて神を信じなさい。

よし。お嬢さんを連れて来い。今、信仰を持ちなさい。前に出ていただけますか、お姉さん、今すぐ。さあ、心から信じて、まったく疑わないでください。あなたは私を神の預言者として、神の僕として信じますか?あなたは信じています。神様があなたと共にありますように、お母さん。はい、あなたは糖尿病ですよ、お母さん?あの古いインスリンとかは本当にひどい。あのショットで会えるよ。さて、それは本当ですか?そして、あなたは心臓の問題か何かを持っています。あなたが窒息しているのが見えます、よくこのように手を握ってください。息切れするんですよね?そうじゃないですか。… 私はあなたの心を読んでいるのではなく、ビジョンを見ているのです。そして、道を歩いているときは自分に注意しなければなりませんよね?はい、入っていたんですね。.. さて、あなたは縁石から降りようとしていたのがわかります、そしてあなたは..時間をかけていたのです。そうじゃないか?最近、看板があった場所のそばで、このように走っています。そうじゃないか?母よ、家に帰って主イエス・キリストを信じ、完全に完全な者になりなさい。

今ここに椅子に座っているすべての人が、自由にされて外の通りを歩けるようになることもできます。

寝台に横たわっている方々が解放されることもできます。

癌や心臓病、さまざまな苦しみを抱えている方々にとっても——ここにおられるお一人おひとりにとって——解放の時となり得るのです。

もし神が助けてくださって、それがどれほど単純なことであるかをあなたにお伝えできるなら、あとはあなたがそれを受け取るだけなのです。

6 それでは、私たちの多くにとって親しみ深い聖書の箇所をお読みしたいと思います。

旧約聖書、預言者モーセに関する箇所、神がイスラエルの子らを導くために彼を遣わされた場面です。

出エジプト記23章20節から、23節の前半までをお読みいたします。

「見よ、わたしは一人の御使いをあなたの前に遣わす。あなたを道で守り、わたしが備えた場所へ導くためである。

彼に気をつけ、その声に従い、彼に逆らってはならない。彼はあなたがたの背きを赦さないであろう。わたしの名が彼のうちにあるからである。

もし、あなたがその声によく従い、わたしの語るすべてを行うなら、わたしはあなたの敵の敵となり、あなたの仇の仇となろう。

わたしの御使いはあなたの前を歩き……」

7 それでは、しばし頭を垂れましょう。

天の父なる神様。

今夜、あなたが今もおエホバであり、初めにおられたその同じ天の父であり、そして終わりにもおられるお方であることを知り、私たちの心は喜びに震えます。

あなたはいつまでも変わる事のないキリストであられます。

その神聖な愛を、人類に注いでくださったことを感謝いたします。

今夜この主題を思い巡らすとき、かつての自分たちを思います。

私たちは神から切り離され、あわれみもなく、神もなく、キリストもなく、この世にあつて異邦人として生き、神と義から遠く離れた者でした。

しかし、時が満ちたとき、私たちが何一つできなかったそのときに、キリストはその愛によって、罪なきお方として罪ある者のために死んでくださいました。

そして今、私たちは神の子らの完全な身分へと導かれております。

まだ、私たちがどのようなようになるのかは現れていません。

しかし、私たちは主を見ることを知っています。

なぜなら、主の栄光のからだに似たからだをいただくからです。

そのとき、私たちは主をそのままに見るでしょう。

病もなく、罪もなく、死もない世界で。

ああ、私たちは霊のうちにうめきつつ、その朽ちることのないからだを着ることを待ち望んでおります。

8 しかし父よ、私たちがこの人生の旅路を歩みながら、右へ左へと叫びつつ、いのちの綱を投げかけ、他の人々を神の御子の救いの恵みの知識へと導いているこの間にも、私たちはこのからだに健康を必要としています。

そして主よ、あなたがそのための備えられた道をすでに設けておられることを、私たちは知っております。

愛する神様、これからこの会堂で持たれる集会の夜ごとに、あなたがお自身を現してくださいますように。

この私たちの中に、一人も病める者も、弱った者も残らないほどに、あなたが御力を現してくださいますように。

神よ、予定によれば、私は暗いアフリカへ向かう前に、あと二つの集会を持つことになっております。

主よ、私の愛するこの故郷の地において――

ああ、父なる神よ、どうかあなたの祝福を二倍にして注いでください。

おお、親愛なるイエスよ、あなたはここにいます、預言者が言ったように、同じ素敵な人、万人の中で最も美しい人、谷のユリ、明けの明星です。そして、この若い母親がここ何年もここにいるのを見て、彼女が苦しんでいるのを見ました。そして、それが彼女に語りかけ、彼女の心を明らかにし始めると、親愛なる神よ、あなたが彼女に触れたように感じました。そして私は今、あなたの言葉を記念して彼女に手を置きます。イエス・キリストの御名において、彼女が生涯を通じて健康で元気でありますように。

70 そして、ちょっと見てください、ちょっと見てください。ちょっと聞きたいことがある。私の知る限り、私は人生であなたに会ったことがありません。私たちは一緒にいると見知らぬ人です。そして、もしあなたの人生に何かがあったら、何でもいいのですが..時々そうしないことがあります。…繰り返すことはできません。そうですね、私がおあなたに何かを言っているのを聞きましたね。それは私の声でしたが、それを操作したのは私ではありませんでした。それは超自然的な存在でした。そして私が話している間、あなたは何かが起こっていると感じていたに違いありません。そうか？そして、それはあなたに真実を伝えましたか？真実だったのか？さて、わかりました。さて、もしそれがあなたに真実を語っていたとしたら、何が..

今、あなたは再びそれを感じ始めていますね？同じ霊だ。彼は私にあなたと話してほしいと感じていました。はい 奥様。もし神があなたの人生に何かあったのか、それが真実であるとあなたが知っていることを私に知らせてくださるなら、神は私に何が起こるかを知らせてくださいます。信じますか？結核が治りましたね。元気になるために家に帰るんだ。神のご加護がありますように、お姉さん。さて、あなたは良い女性になるでしょう。神のご加護がありますように、お姉さん。

“神の善良さと憐れみを讃えましょう。”と言いましょ

71 気分は良くなりましたか、お姉さん、そこに設定しますか？そうですか？素晴らしい。私はそれがそのように動いているのを感じ続け、探し続けました。祝福はあなたたち二人にあります。そうだね。素晴らしく動いています。あなたが何のために祈られたのか覚えていませんが、それが何であれ、あなたが癒されたことは知っています。はい。アーメン。神はあなたとともにいて、あなたを助けてくださいますように。

あそこで何を祈っているのですか、お嬢さん、頭を下げて一をつけてそこに設置してください。祈ってるんでしょ？神が私を遣わし、私がおあなたに真実を話していると信じますか？神が私を預言者として遣わしたと信じていますか？もし

もし—そして私が—私のいる場所にたどり着くことができたなら、そしてあなたは癒されるだろうと聞いたと言いました。そうか？それがあなたが言った祈りですか？その日、あなたがその椅子の横にひざまずいていたとき、どうして私はあなたの祈りを知ることができたのでしょうか？こっち来い。

全能の神、命の創造者であり、あらゆる賜物を与える者よ、私がこの小さな女性に手を置くと、あなたはあなたの言葉でこう言いました。“これらのしるしは信じる者たちに従うでしょう。もし彼らが病人に手を置いたら、彼らは回復するでしょう。” 神よ、イエス・キリストの名において彼女に癒しを与えてください。アーメン。神のご加護がありますように、お姉さん。喜び、幸せになり、今は元気になってください。“主を讃えよ。” みんなとしましょう。

68 わかりました、よろしければ女性を連れてきてください。来いよ お姉ちゃん。こんばんは。ここトレドではとても暖かい夜です。はい、そうです、奥様。あなたは彼を愛していますよね？彼は素晴らしいと思いますか？私はただこれらの言葉を言っているだけです。マスターが女性に言ったように、“行け、飲み物を飲ませてください。” だって、彼は自分の飲み物を飲めたはずだ。

彼女は言いました。“ユダヤ人がサマリア人に何かを尋ねるのは習慣ではありません。” 彼女の好意は…

彼は言いました、「“でも、誰と話しているのか知っていたら、私に飲み物を頼むでしょう。”。そして、あなたがここに描くために来ない水をあげます。” そうでなければ、彼は何が問題なのかを知るために彼女の人生に連絡を取ろうとしていたのです。そして父が彼に示したように、彼は彼女の問題が何であるかを正確に明らかにし、それは正されました。そうか？

69 彼は昨日も今日も永遠に同じですか？そして、私あなたがあなたに真実を話したと信じますか、これが彼であると信じますか？はい 奥様。私はあなたの心を読んでいません、お姉さん。私はただ…これが神の聖霊です。あなたはたくさん抱えていました。あなたの後ろには暗い筋、トラブルの道が走っているのが見えます。そうですよね？なるほど… はい、最近ここでひどい神経質な呪文をかけていますね？そして、特に午後に会います、時々あなたは… あなたの力はすべてあなたを残します。あなたは椅子に座りました。周りでは暗いようですよ？ああ、はい、なるほど… はい、あなたも結核ですよ？あなたは結核を患っています。そうじゃないか？ああ。あなたはそこでそれらのことを考えていませんでした。つまり、それは精神的なテレパシーではないはずですよ、姉さん？全能の神の力です。それを信じるか？こっちへ来いよ お姉ちゃん。

それをお与えください、主よ。

9 そして今夜、初めて訪れたこの町において、

あなたの聖なる御子の御手が、やさしいあわれみのうちに差し伸べられますように。

すべての病める者を抱きしめ、すべての罪人を抱き寄せ、救いと癒しのために、主よ、あなたのもとへと導いてください。

地上に生を受けた日から私を養い、今夜もここにおられる神の御使いが、会衆の前にキリストを現してくださいますように。

この集会の中に、何一つ欠けるものがないほどに。

信仰が高められ、この建物の中にあるあらゆる病や疾患を圧倒するほどになりますように。

そして、この町において主イエスの御名があがめられ、

昔ながらのリバイバルが起こり、町中へ、さらに国中へと広がっていきますように。

正しいお方——私たちが皆、その来臨を待ち望んでいるそのお方——が来られる直前に、それが起こりますように。

どうか、それをお与えください、主よ。

今、この後のわずかな時間、会衆に語る私を助けてください、愛する神よ。

信仰を励ます言葉をお与えください。

私たちの救い主、あなたの御子イエスの御名によって祈ります。アーメン。

10 私の語りは限られたものです。……

バクスター兄弟が主に語る者であります。

けれども、最初の夜だけは、いつもより少し時間をいただきます。

一日の忙しさの中からそのまま入ってきて、しばらく続いている集会の流れの中に入るものですから、私は疲れ、弱っております。

それでも第一夜には、聖霊の現れについて語ることを常としています。

まずそれを、会衆の皆さんに個人的に理解していただきたいのです。

ですから、毎回最初の夜にはお願いしております。今夜もどうか私を助けてください。これから起ころうとしていること背景を、まず皆さんに見ていただきたいのです。

さて、私も皆さんと同じように承知しております。

今日「神の癒し」と呼ばれるもの、またキリスト教と呼ばれる信仰の中には、多くの狂信的なものが入り込んでいることを。

しかし、ここにおられる多くのクリスチャンの方々は、それをよくご存じでしょう。確かに狂信は存在します。

けれども、それがキリストを損なうのではありません。むしろ逆なのです。

偽りの行為が存在するという事は、それに基づく本物の聖霊が必ずあるという証拠なのです。

もし本物が存在しないなら、偽物が本物として立つしかありません。

11 たとえば、偽のドル札——偽札を見たなら、それが作られるためには本物が存在しなければなりません。

本物がなければ、それが元祖であり、本物ということになってしまうでしょう。

同じように、クリスチャンだと公言しながら、クリスチャンのように生きず、クリスチャンらしく行動もしない人を見たとき、

あなたは知るので——その背後のどこかに、本物の真実なクリスチャンが必ずいるということ。

さて、「神の癒し」と称して行われていることの中にも、神がなさっていないものが多くあります。

しかし、それらすべての存在そのものが、背後に本物の神がおられることを証明しているのです。

真実に開かれた、神の癒しの泉があるということ。

“主に感謝します” 皆さんとしましょう。よし。

65 わかりました、お嬢さん、来てください。よし。今はみんな敬虔です。さて、次のことは女性の中にあります。それは彼女に違いない、さもなければ彼女はうまくいかないだろう。わかった、今はただ敬虔だ。

どうする お姉ちゃん？あなたが眼鏡をかけているのが見えますが、それは。… あなたの目には何かがありますが、人々はそれを見ることができます。分かりますか？問題は、不思議なことに、人々が見えない何か問題があるかどうかです。メガネをかけているので、目以外は健康な人のように見えます。しかし今、あなたは本当に真の信仰を持つ信者です(そうです)。そしてあなたは神の御霊に満たされたクリスチャンです。あなたの目は乱視で乱視されており、それが長い間その状態を引き起こしています。そして、あなたは背中に何か問題を抱えていますね。そうじゃないか？確かにそうでしたね。イエス・キリストはあなたを完全な者にしてくださいました、妹よ。プラットフォームから降りて元気になれます。神のご加護がありますように。行って、喜び、幸せになってください。

“神に賛美あれ。”と言いましょ 今、心を尽くして神を信じなさい。そうすれば神はそれを実現してくださいませ。よし。今はみんな敬虔です。

66 こんばんは、お姉さん。私たちのマスターは素敵ではありませんか？私はただ心から彼を愛しています。あなたもそうだと思います[不明瞭な言葉]。それが今感じている神の御霊だと信じていますか？それが彼だと信じますか？そうですか？あなたと私は見知らぬ人ですよ、お姉さん？私たちはお互いを全く知りません。そして、もし私があなたのことを何か知っているとしたら、それはイエスのようなものでなければなりません。

私があなたと話す理由は、単にあなたの精神に触れるためです。それは分かっている。このマイクは生きています。分かりますか？そして、あなたの人生で何が起こったのかを見る前に、まずあなたの霊に連絡しなければなりません。ほら？それは観客には関係ないことだ。ただあなたと話しているだけです。分かりますか？そして、これは単にあなたに連絡するためです。

67 はい 奥様。私が真実を話したと信じていますか？私が告白した告白は、あなたはそれが真実だと信じていますよね、姉さん？あなたはかなり長い間被害者でしたね、姉さん？あなたは女性のトラブルに苦しんでおり、それがかなり長い間あなた—を引き起こしてきました。そして、あなたは心臓に問題を抱えています。そうじゃないか？心を窒息させる。それは本当ですか？そしてあなたはそれを信じています。… そして祈ったとき。… あなたは最近ここで祈っていて、

ンナム兄弟に話しかけます。]

お姉さん、ほら、それは私にとって秘密ではありません。いいえ。ほら、私はそれを理解しており、知っています。ここであなたの悩みが一つあります。あなたは私を神の預言者として信じますか？心を込めて？ほら、あなたは何度も何度も試してきました。あなたは自分の人生などに満足したことはありません。あなたはいつももっと近くを歩き、神と一緒にいきたいと思っていました。あなたは若い頃、自分には使命か何かがあると感じ、神からの使命のようなものを感じました。あなたはそれを満たしたことはありません。あなたは神があなたに命じたことを一度もやったことはありません。今夜、あなたが自分の全存在を神に委ねるなら、神はあなたを癒してくださるでしょう。心からそう信じますか？それがあなたがやりたいことです。

64 ほら、お姉さん、そんなことは言わないよ。あなたは癌を患っています。それがあなたが持っているものであり、あなたの何が問題なのかです。その通り。あなたは… あなたは癌を患っています。そしてそれが今あなたを傷つけているのです。そして、決断を下すのにそれほど時間はかかりません。そして今夜、あなたはイエス・キリストのためにそれを作り、残りの日々を心からイエスに仕えなければなりません。それを信じるか？それを受け入れるか？私があなたに真実を話したことはご存知でしょう。ほら、その部分をご存知でしょう。あなたは聖霊のバプテスマを受け、残りの日々を聖霊のために生き、聖霊の僕にならなければなりません。それを信じて、敬虔になって、信じて、ここから出て、私の言うとおりにすれば、あなたは元気になるでしょう。あなたはそれをすべて信じていますか？はい 奥様。ほら、あなたは精神的に障害があるのよ。しかし、それは私が言おうとしていることではありません。それは… The first thing is first; that's God. 最初のことは最初です。まず神を受け入れなければなりません、ほら。よし。さあ、頭を下げてください。

天の父よ、この女に憐れんでください。神よ、私は祈ります、ここで彼女の前に立って、あなたが彼女を憐れんでくださるように。私は、何か対策を講じなければ、これ以上ここに留まることはできないと悟り、その女性に手を置いた。そして私は神に祈ります… さて、彼女に何をすべきかを指示されたとおりで。主よ、彼女が今夜幸せな状態でここを去り、ただあなたに身を委ね、聖霊のバプテスマと神の力を彼女の人生に受け入れてくださることを許してください。そして主よ、あなたは彼女に電話して元気になるように送ってくれると私は信じています。イエス・キリストの名において私が彼女に手を置くと、これらの祝福を与えてください。アーメン。神のご加護がありますように。さあ 行け。よし。

今夜、あなたがここにおられるのは、単なる好奇心からではないと、私は信じています。

もしそうであったとしても、神はその好奇心を満たしてくださるでしょう。

私はそう願ひ、また信じております。

12 まず最初に申し上げたいのは、「神の癒し」というものについてです。

神を表すいかなることにも近づくときは、穏やかに、健全に、そして神の御言葉にしっかりと基づいていなければなりません。

もしそれが神の御言葉以外の何かの上に築かれているなら、それは誤りです。間違っています。

関わってはなりません。

もし今夜、それが神の御言葉の中に見いだされず、また御言葉によってそれが神の御心であると証明できないなら、私はそれに一切関わることはいたしません。

私は偽善者として、あるいは人を欺く者として死ぬくらいなら、罪人として死ぬほうを選びます。

死後に機会があるとは私は信じておりませんが、仮にあるとしても、神の前に立つとき、

「神よ、私はただあなたを信じなかっただけです。それで手放しました」と言うほうが、偽善者として立つよりは、はるかに良心が平安でいられるでしょう。

聖書は、不信者であるほうが、偽善者であるよりもまだと語っていると、私は信じております。

13 ですから、私はキリストを愛しております。

その日、拒まれることがあるかもしれません。

けれども、救われて以来、私の心の中には確かなものがあります。

もし今夜、主が現れて、「あなたを天国に受け入れることはできない。あなたは離れて、悪魔のいるところへ下って行きなさい」と言われたとしても――

もしそこでなお主を覚えていることができるなら、

私の心にあるこの愛は、そこでさえ主のために燃え続けると信じます。

主が私にしてくださったことを思えば、たとえそのような場所であっても、私はなお主を愛するでしょう。

私は御言葉について多くを知っているわけではありません。

けれども、この心の中にある主への愛は、言葉では言い表せません。

主は、私のいのち以上のお方なのです。

14 さて、神の癒しは御言葉に基づいています。

そして私たちは、神が主権者であることを知っています。

人々は「神は何でも好きなことができる」と考えます。

しかし神は、何でもできるわけではありません。

神はご自身の御言葉に対して責任を負っておられます。

神は偽ることができません。

聖書はそう語っています。

ですから、神にできないことが一つあります——それは、偽ることです。

神が何かを語り、約束をなさったなら、その約束を取り消すことはできません。

なぜなら、神は神であり、主権者であり、その約束を撤回することはできないからです。

これが真実だと信じる方はどれほどおられますか。

ですから、もはや議論の余地はありません。

神の癒しが贖いの中に含まれていることは、私も、どの福音の奉仕者も証明できます。

「彼は私たちの咎のために傷つけられ、その打ち傷によって私たちは癒さ

それはそれを知っています—私があなたに信じさせることができれば、それはあなたから離れなければなりません(あなたは、わかりますか?)、そしてそれがそれが戦う理由です。それが、それをとても引っ張る理由です。そして、そこには同じように助けを求めて引っ張る同族霊がいます(わかりますか?)、彼は自分が問題を抱えていることを知っているからです、あなたはすでに癒されているからです。

あなたは女性に問題を抱えていましたね。治ったね。そうだね。さて、ただ。… そうです、あなたの信仰があなたを救ったのです、姉さん。あなた。…

62 そして、お嬢さん、あなたはそこで最後に設定しています; あなたは女性の問題を持っていませんでしたか、そのときそこに設定しますか?ほんの一分だけ立ち上がってください。あなたも治ったわよ お姉ちゃん。神のご加護がありますように; あなたは[不明瞭な言葉]です。よし。神のご加護がありますように。さあ、行ってもいいよ。あなた。… 神のご加護がありますように、お姉さん。元気になるぞ。

女性は卵巣に膿瘍を患っていた。さあ、みんな本当に敬虔になってください。心から信じてください。神はそれを実現してくださるでしょう。[テープ上の空白部分。]

私とその女性と話している間、あなたの中に奇妙な感情が起こっていましたね、お嬢さん。ほら そうだったんだ。来る予定だった。どこにあるのか見えませんでした。そして私は光、神の天使がその女性にぶら下がっているのを見ました。そして私が彼女と話したとき、それはまさにその時、彼女の上に降りてきました。そして、私があなたと話したときすぐに、温かい歓迎の気持ちがあなたに襲いかかりました。そうか?もしそうなら、私が真実を話していることを人々に知ってもらうために立ち上がってください。そうか?渡りました。… その時、神の天使があなたを祝福し、あなたは今癒されました。元気になれる。

63 よし。お嬢さんを連れてくるなら。よし。今、誰もが心から信じて、本当に敬虔でありなさい。そうすれば神はそれを実現してくださるでしょう。

こんにちは、お嬢さん。私の。… さて、失礼しますか?あなたはボズワース兄弟が手紙を書いて、祈りに来ると私に言った女性です。ああ。そして彼はいつそれを書いたのでしょうか?ああ、ボズワース兄弟が患者を送っていると言った手紙ですか?よし。

あなたは。… フロリダのどこから来たの?イリノイ州 ジョリエット。[妹はブラ

いるのを見ました。” そうか？

さて、最初に言われたのは、あなたはクリスチャンであるということです。そうか？

あなたは信者であり、心臓疾患に苦しんでいます。そうじゃないか？元気になるから今すぐ家に帰ってもいいよ。イエス・キリストがあなたを癒してくださいました、兄弟よ。そして神のご加護がありますように、あなたを元気にしてください。

さあ、皆さん、“主を讃えましょう”と言いましょ。私は最初の二人のために祈ったことはありません。彼らがここに来る前に、彼らの信仰が彼らを癒しました。ほら？

さて、あなたはこう言います、“ブランナム兄弟、それをどう思いますか？”患者と話していると、本当に弱ってしまいます。そして私は主の祝福が彼らに与えられ、彼らを癒したことを知っています。よし。さあ、信仰を持ち、心から信じてください。

どうするんだ お姉ちゃん。私たちのマスターは素敵ですよ？ほら？さて、現時点ではあなたの何が問題なのかわかりません。しかし、あなたは信者です。そして観客の中にも同じように何かを引き出している。さて、それは同族精神です。それはあなたが持っているものと同じものを動かすものです。ほら、精霊は同族です。聞いたとおり、“羽の鳥。…” ほら、彼らは一緒に行きます。そして悪魔の力、悪魔学も同じように機能します。そしてあなたはここに立っています。.. あなたは私の妹です。あなたは苦しんでいます、そしてあなたは。.. 私たちは見知らぬ人ですよ？そして…

61 さて、ちょっと待ってください。私は。… それはあなたと同じものを持ってそこに設定している人です。そして、それは私をかなり悩ませています。。 ちょっとだけこちらを向いていただけますか。これ。… いや こっちだ。私を見て、これを回してください。。 ちょっとだけ話したいのですが、ちょっと事件に戻りたいのですが(わかりますか?)、気になるからです。それが何なのか分かりません、そしてそれは引っ張っています。親族だ。… まるで…

それが何であるかです。あなたは人間です。そして私は人間です。そして私たち一人一人は霊に取り憑かれています。そして今、ここにあるものは信仰のために私のところにやって来ます。そしてあなたは苦しんでいます。そして…。そしてあなたの中には病気か何かの精神があります。そして、それが何であれ、

れた。」

そのとおりではありませんか。

この一節だけで決着がつきます。

もし仮にそれが贖いの中に含まれていなかったとしても、神の御言葉がそう語っているなら、それは正しいのです。

なぜなら、神はご自身の御言葉に対して責任を負っておられるからです。

神はご自身の御言葉に従って行動されるお方なのです。

15 先日、バクスター兄弟がある話し合いの中で、このことについて、私がこれまで聞いた中で最も美しいたとえを語ってくれました。

ある国に、正しい王がいたそうです。

その王は、ひとりの奴隷を処刑しなければなりませんでした。

国の法律が、その奴隷を死刑にすることを王に義務づけていたのです。

王の前に立つ奴隷は、震え上がり、ひどく緊張していました。

王は言いました。

「さあ……命を取る前に、何か望みはあるか。」

奴隷は答えました。

「水を一杯ください。」

王は水の入った杯を渡しました。

しかし奴隷はあまりに緊張していて、口元まで運ぶことができず、水はこぼれ落ちてしまいました。

王は言いました。

「落ち着きなさい。お前がその水を飲むまでは、命を取らない。」

すると奴隷は王を見上げ、水を投げ捨てました。

その瞬間、王は彼を解放しなければなりませんでした。

なぜなら、王は正しい王であり、善い人であり、自分の言葉に縛られていたからです。

しかし神は、善い人以上のお方です。

神は主権者です。

神が御言葉の中でこう言われました。

「何でもあなたがたが祈り求めることは、すでに受けたと信じなさい。」

——それは「何でも」です。

また、

「わたしがしていることを、あなたがたもする。わたしが父のもとへ行くからである。」

これは真実です。

神はそれを取り消すことができません。

神は約束されました。

「彼は私たちの咎のために傷つけられ、その打ち傷によって私たちは癒された。」

これは真実なのです。

16 さて、少しだけお話しします。

イエス・キリストは罪を取り除くために来られました。

それを信じておられますね。——そうですね。

では、病とは何でしょうか。

病は罪の属性です。

罪が存在する前には、病も存在しませんでした。

罪が入り込み、その結果として、病が罪の属性としてついてきたのです。

私たちは皆、それを知っています。

ました。“もし私がヨシャパテの存在を尊重していなかったら、あなたを見ることさえしなかったでしょう。” ほら？ 言い換えれば、「見て見る」とは、何が間違っているのかを霊的に見ることを意味します。

さて、彼は素敵です、主イエスですよ。彼は確かにそうです。さて、あなたはクリスチャンであり、神の言葉を信じていると認識して… はい 奥様。あなたは状況の犠牲者です。あなたは物事が間違っています。そうじゃないか？ 胆嚢に a—石があるのは 1 つのためです。そうじゃないか？ そして腎臓結石もあります。そうじゃないか？ あなたは… 苦しんでるね… 見てみましょう、それは何ですか。それはショーです… ああ 糖尿病ですよ？ あなたは糖尿病です。緊張してるじゃないですか、すごく緊張してるんですか？ あなたにとっても人生は楽しいものではありませんでした。あります… はい、そこを通る素晴らしい暗い紐のようです。言われたことは真実だったのか？ あれは… それは真実です。よし。そう言ったのは私ではありません。自分の声は聞こえただけ、知らなかった… 私あなたを見ました、あなたはたくさん祈られました。あなたは何度も祈られてきました、そして… そうじゃないか？ 私はあなたの前にビジョンを見ました。

さて、あなたは私を神の預言者として信じますか？ [女性は言います、“私は確かにそうします。”] わかった、家に帰れ、治ったよ。イエス・キリストはあなたを元気にしてくださいました、妹よ。そして神のご加護がありますように。行け [不明瞭な言葉] 神のご加護がありますように、お姉さん。よし。

60 誰もが今と同じように敬虔でありなさい。わかった、息子よ、その男を連れてきてもいいよ [不明瞭な言葉]。どうやってやるんですか、先生？ 私たちのマスターは素敵ではありませんか？ ああ、言っておきますが、彼なしでは何ができるのかわかりません。彼は私の人生であり、喜びであり、私が持っているすべてです。そして、あなたも神を信じていると私は認識しています。歓迎の精神だ。あなたが批評家ではなくクリスチャンであることをどうやって知ることができますか？ ナタナエルが善良な人、誠実な人であることを知っていたのは同じ御霊です。そして今、イエスはナトに言いました…あるいは、ナタナエルはイエスに言いました。

彼は言った、「見よ、確かにイスラエル人であり、そこには悪意はない。」

そしてナタナエルは驚いて言った、「ラビ、あなたはどこから私を知っていますか？」

彼は言いました。“フィリップがあなたを呼ぶ前に、私はあなたが木の下に

57 さて、わかりました。あなた。… さて、私はあなたと何も話したことがありません。そんなふうにあなたのことは何も知りません。ほら、あなたはちょうど会議—フrint会議に出席していただけです。そして、そこでの最初の夜、私たちは約8,000人か8,500人くらいだったと思います。[妹は速い列を通り抜けたと言っています。] ああ、あなたが通った速い祈りの列がありました。まあ たぶん。長い間それをやめました。… いいえ、奥様。さて、私が言いたいのは、あなたと私はお互いを知っている限り、見知らぬ人だということです。ほら、それは。… そして私は神の前に手を置きました、私はしません。。あなたに会った記憶はありませんし、そんなわけありません。。私の頭を下げてそこに立ってください、そして人々はできる限り一生懸命私の前を通り過ぎます。何百も、何百も通り過ぎていくなんて、私にはわかりません。

さて、あなたに何か問題があります、さもなければあなたはここにいないでしょう。そして、あなたは批評家ではありません;あなたはクリスチャンです。あなたはクリスチャンです。私は。… あなたが歩み寄って私が振り返るとすぐに、私は御霊の証人を感じました。さて、今あなたに何かが起こっていますね。さて、聴衆の証人として、もしそれが本当なら手を挙げていただけますか、非常に奇妙な奇妙な感覚です。さて、彼女の信仰は今動いており、御霊が今私に臨んでいます、ほら。

58 さて、もし私があなたについて何か知っていたら、それは超自然的な存在から来ているに違いありません。私はあなたのことを知りません(わかりますか?)、あなたについては何も知りません。そしてそれは知らなければなりません。さて、あなたは..このことに気づいています、あなたはここに来ていますが、私はあなたのことを知りません。そして今、そこには超自然的な何かがあるという目撃者がいます。そして、その気持ちは温かい歓迎のようなものです。そうじゃないか?それは……

ほら、説教では油そそがれて幸せになります。しかし、これはむしろ落ち着いた感情です。ほら、今は私たちの間を行ったり来たりしているだけです。そして今、もし私があなたについて何かを知ることができたとしたら、それは超自然的な領域を通じてもたらされなければならないでしょう。そしてあなたは、それが私が言うとおりに、主イエス キリストの御霊であると信じています。はい 奥様。それがあなたがここにいる理由です。はい 奥様。さて、もちろん、あなたが眼鏡をかけているのが見えます。それがあなたの目でしょう。でも、何か違うものがあるんだらうな。あなたに会えるように、何も言いたくないんです。

59 さて、見るという意味ではありません。。あのね。… 預言者エリシャは言い

すべての病は——

必ずしもあなた個人の罪によるとは限りません。

それは直接的である場合もあれば、間接的である場合もあります。

あるいは、あなたの先祖の罪による弱さが受け継がれ、世代を通して下ってきたのかもしれませんが。

「世代ごとに弱くなり、そして賢くなる」と言われたように。

しかしいずれにしても、それは罪から来る直接、または間接の結果なのです。

たとえば、こう考えてみてください。

もし大きな蛇、あるいは大きな獣が私の脇を押さえつけ、その爪で私を傷つけているとします。

私はその爪を切り落とす必要はありません。

その頭を打って倒してしまえば、全体が死ぬのです。

イエスが罪のために贖いを成し遂げられたとき、

罪とそのすべての属性を打ち倒されました。

蛇の頭を打たれたのです。

それを信じますか。——それは真実です。

ですから、罪を贖われたなら、病も贖われたのです。

なぜなら、病は罪の属性だからです。

私たちの心配、不安、恐れ、悩み——

それらすべてが、罪から生じた属性なのです。

17 さて、イエスがカルバリで死なれたとき、父なる神の前において、罪の問題は永遠に解決されました。

なぜなら、主は私たちの罪のための完全な犠牲であられたからです。

主は「近親の贖い主」でした。

聖書に通じている方ならお分かりでしょう。ボアズのように、失われたルツの相続地を買い戻すためには、近親者でなければなりませんでした。

彼は公の場でその証しを立て、ルツに属していたすべてのものを贖いました。

ナオミを贖うとき、同時にルツも迎え入れました。

それは異邦人の花嫁の型でもあります。

しかし彼は、近親の贖い主であったのです。

さて、霊であられる神は、ご自身を肉体という幕で覆い、御子キリスト・イエスとして現れました。

神はキリストの内にあって、世を和解させ、ご自身に引き戻されたのです。

そして人間の近親となり、ご自身が人間に課した刑罰を、代わりに受けられました。

主は近親となり、贖い主となられたのです。

言い換えれば、私たちは悪魔の質屋に入れられていたようなものです。

しかしイエスが代価を支払い、私たちを買い戻してくださいました。

代価はすでに支払われたのです。

ですから、イエスがカルバリで死なれたとき、

神の御前においては、世に存在する、また将来存在するすべての罪人が、すでに救われたのです。

18 さて、あなたが救われたのは十年前でも、二年前でも、三年前でもありません。

私が救われたのも十七年前ではありません。

私たちは二千年前に救われたのです。

ただ、私は十七年前にそれを受け入れただけなのです。

ないことがわかるでしょう。もう一度言わせてください。法律によれば、私は礼拝中に批評家に起こったことに対して責任を負わないからです。なぜなら、これらの力は、後で別の礼拝で説明しますが、ある力から別の力に行き来する絶対的な悪魔であることをご安心ください。それが真実だと知っている人は何人いるでしょうか？まあいいよ。そこにはしっかりとした聴衆がいると思いました。

聖書の時代に、彼らは出てきたかったのを覚えていますか？彼らは肉体を持たなければ無力です。彼らが体現されると、彼らは困った状況に陥ります。

55 さあ、お嬢さん、来てください。そして今、誰もがあなたと同じくらい敬虔です。さて、観客にはこれを見てもらいたいので... この前にできる限り話そうとしています—油注ぎが始まります

通常、患者が来たときに患者の顔一を見てほしいと思います。油注ぎが下りたら、一彼らの表情が変わるのを見てください。彼らは自分たちが超自然的な者の前にいることに気づきます。

そして今、人々は奇妙です。最初の夜は少し奇妙かもしれませんが、皆さんには私と一緒に祈ってほしいと思います。そして今、そこで祈り、ただ信じてください。そしてあなたの信仰が私に引き寄せられるでしょう。もしそうなら、私はビジョンを見ます。そして、ビジョンを見たとき、私は見たものについて話します、そうすればそれが誰であるかがわかるでしょう。ほら？みんな準備はできていますか？

さて、車椅子などを持ってここにいるあなたは、一自分のケースが無力だとは思わないでください。じゃないわ。信じる。

56 どうするんだ お姉ちゃん。さて、あなたは—あなたは患者ですよ、お姉さん。私たちは見知らぬ人だと思います。私はあなたに会ったことがないと思います。もしそうなら、私はあなたを認識しません。ミシガン州フリントで私を見たことがありますね。会議に出席していましたか？ただ入らなかつただけだと思います。フリントでの会議を最もよく覚えています、それはかなりの会議でした。

さて、バクスター氏はただ... ほら、油注ぎが下ってきます、そしてそれは... そして、そうなったとき、なぜ、時々私の声が... ご存知のとおり、彼らは観客に聞いてもらうためにそれを望んでいます。ほら？それでは、彼らが大丈夫に聞こえるかどうか見てみましょう。

その声が聞こえますか？聞こえますか？わかりました。

52 私たちが持っている主の天使の写真を見たことがある人は何人いるでしょうか。手を挙げるのを見てみましょう。皆さんの多くはそれを見ましたよね？まあ、皆さんも理解していますね。あなたは他の会議にも参加していましたね。降りてきて油を注ぎます。そして油注ぎの中で、それは話します。私はそれとは何の関係もありません。さて、もしあなたが信じるなら、そしてそれがあなたに何をするように指示したとしても、あなたはそれが言うことを正確に実行し、何が起るかを見てください。さて、ただ…

それはすべての人を癒すわけではありません。あなたが癒されるのは信仰によってのみです—しかし、それは知っています。

何度も人を見て、彼らが死ぬのを見ます。直接導かれられない限り、私はそれについて何も言いません。人々の周りが暗くなるのを見たら、彼らが何日も過ごしていないことはわかっています。しかし、私は決してそんなことは言いません。なぜなら、祈りは物事を変えることがあるからです。私たちはそれを認識しています。

ヒゼキヤは預言者から死ぬと言われました。神が彼にそう言ったと思いますか？ヒゼキヤは顔を壁に向け、激しく泣きました。神は彼の祈りを聞いて預言者を彼のもとに送り返しました。言った、“私は彼の祈りを聞きました；彼を15年間救いました。”それは本当ですか？

53 今。さて、あなたは祈りのカードを持っていません、あなたと同じように。。おそらくあなたの最初の夜、つまり最初の会議です。今夜これをあげます。祈りのカードをもらえなければ、それは関係ありません。あなたはこれをありのままに見て、私があなたに真実を話したと心から信じています。

そして観客を見ます。そして、それが私から引き出されるのを感じ始めると、もし神があなたに関して私に何かを見せてくれたら、私はあなたに話します、ほら。さて、そうではありません。。祈りのカードのことは忘れてください、ほら。こっちを見て祈るだけ。そして神はこの時にそれを明らかにすることができます。神がそれを許してくださいますように。

今、私は誰もがができる限り敬虔であってほしいと思っています。

54 そして今、あなたの子供を持つ母親は、特にてんかんの場合、時には多くの問題を引き起こします。そして、あなたは子供たちをあなたの近くに置いています。そして、私があなたに頭を下げるように言ったら、あなたはそれをします。そして、会議の冒頭からこれを覚えておいてください。そうすれば、私には責任が

イエスは、私一人のためだけに、あるいはあなた一人のためだけに降りて来て死なれたのではありません。

罪の問題を完全に解決されたのです。

しかし、それを受け入れなければ、私たちには何の益もありません。

あなたが主を個人的な救い主として受け入れること—

それが必要なのです。

そしてそれは信仰によって受け取り、信じるのです。

ヘブル書3章1節で、聖書は主を「私たちの告白の大祭司」と呼んでいます。

今、主は父の右の座に着き、私たちの告白に基づいて、とりなしをしておられるのです。

19 覚えていてください。

どれほど涙を流すかではありません。

どれほど悔い改めるかでもありません。

どれほど大声で神に叫ぶかでもありません。

どれほど真剣であるかでもありません。

あなたが主のもとに来るとき、どれだけの信仰を持って来るか、それなのです。

主はあなたの祈りの功績によって救われるのではありません。

あなたの義の功績によって救われるのでもありません。

信仰の功績によって救われるのです。

あなたがたは恵みにより、信仰によって救われるのです。

あなたは自分が罪人であると知り、罪を悲しみ、悔い改めて祭壇に来ます。

そして何週間でも泣き続けることができるでしょう。

しかし、心の中で「私は救われた」と信じるまでは、決して救われません。

そのとおりですね。

それから、あなたはそれを告白するのです。

主は、あなたが告白するまでは、何もしてくださらないのです。

なぜなら、主はあなたの告白の大祭司だからです。

「あなたが人々の前でわたしを告白するなら、わたしも父の前であなたを告白する。」

そのとおりですね。

「あなたが地上で、わたしがあなたのためにしたと言うことを、わたしも父の前でそのとおりだと言う。」

主は大祭司なのです。

あなたの告白の大祭司です。

今、主は父の右に座し、私の告白に基づいてとりなしをしておられます。

ですから私は、贖いの祝福の中にあることなら、主が私のために成してくださったと告白する権利があるのです。

では、その贖いの祝福とは何でしょうか。

「彼は私たちの咎のために傷つけられ、私たちの不義のために砕かれ、私たちの平和のための懲らしめが彼の上であり、その打ち傷によって私たちは癒された。」

そのとおりですね。

それは、すべての信じる者の所有です。

それは私のものです。

20 旅をしながら、私が気づくことがあります。へりくだって申し上げますが、

人がたくさんいます。あなたが私と一緒にいて、私を助けてくれて、あなたの子供たちをもう少し近づけるために私が知っているかもしれないことを私に明らかにしてくれることを祈ります。そして神様、この夜は素晴らしい会議になることをお許してください。そして、通りが人々で埋め尽くされ、何千人もの人々があなたの御子イエスのところにやって来ますように。そしてすべての車椅子が空になりますように。すべての心臓疾患、すべての癌が治りますように。… 民に大きな栄光がありますように。そして、すべての教会が偉大なリバイバルを受けられますように。私たちはあなたの愛する子イエス・キリストの名においてそれを求めます。アーメン。

50 の文字 [不明瞭な単語] Dは何ですか?私の息子は50枚のカードを配ると言っています。受け取った小さなカードを見ると、裏面に“D。”という文字があります 後ろに数字が見えます。それは単にあなたをプラットフォーム上に並べ続けるためのカードです。さて、D 1 番、2 番でさせてください。電話しましょう。… バクスター兄弟、私たちがそこに着いたのはどれくらいのスペースだと思えますか?そこに何人、10人、15人を呼ぶことができますか?何個くらい?よし。

最初の 15 を D-1 から D-15 までとしましょう。。カードを持っている彼らの近くにいる人たちは、耳が聞こえないかもしれません。彼らのカードを見て調べてください、なぜなら彼らは私の言うことを聞くことができないからです。そして、数字に従って番号順にここに並んでください。1、2、3、4、5、6 上に。… D-10、あるいはD-15です。D-1からD-15まで。私たちは彼らから始めて、できるだけ多くの人のために祈ります。

51 祈りのカードを持っている残りの皆さん。… ここにいる何人が病気で祈りのカードを持っていないのですか、あなたの手を見てみましょうか?今、どこでも、病気で祈りのカードを持たずに手を挙げてください。よし。ただお互いに考えがあるだけです。あなたはここで主に前に設定しています。

さて、彼らがそこに並んでいる間、一その最初のグループ、あなたはこう見えます、友達。この建物の中に私が知っている、または認識している人が 1 人いるとしたら。。神よ、今私の裁判官である私には、私の知っている人が一人もいません。あなたは私にとって見知らぬ人です。私はあなたのことをどこにも知りません。

さて、すぐに、私が奇妙な行動をしているのを見たら、批判しないと約束してください。そうかもしれません。… ほら、私が行くから… 何かが起こる。

盲人が見えるようにならず、  
 あなたの隠れたことが語られず、  
 あなたの病が全能の神の力によって示されないなら——  
 そのときは、ブラナム兄弟を偽預言者だと言ってください。  
 しかし、それが真実であり、  
 神がそれを真実として立証されるなら、  
 あなたはイエスをあなたの救い主、あなたの癒し主として受け入れてください。  
 そしてすべての栄光と誉れを主に帰し、  
 残りの日々を主のために生き、  
 主がいかに良いお方であるかを人々に語ってください。  
 それでよろしいですね。  
 神があなたと共におられますように。  
 それが私の祈りです。

49 よし。また頭を下げましょうか。兄のオルガニストがオルガンに来るなら。ああ、神様、建物は暑かったです。親愛なる人々の多くは、ここステージで扇風機を設置して、とても暖かいです。さて、親愛なる神よ、私たちは見られるためにここにいないわけではありません。主よ、あなたはあなたの奉仕が決して見せしめではないことをご存じです。それはボードビル行為でもありません。それは救いに対する神の力です。

主よ、私は今夜、遣わされ、私を一日を通して運んでくださった天使によって、あなたを代表しようとしています。これらの人々に、あなたは昨日も今日も永遠に同じであるということによって。そして、私はこれらのことについて自分自身の中で何もすることがありません。彼らに送られたのはあなたとあなたの神聖な慈悲です。私は自分が知っていることをすべてやりました、お父さん。そして、昔から私と一緒にいた天使が今私に近づいてくるように祈ります。

ここにはたくさんの病人が出かけます、お父さん。世の中には困っている

おおよそ二つの種類の人々に出会います。  
 一つはファンダメンタルの人々、もう一つはフル・ゴスペルの人々です。  
 どちらも立派な方々です。  
 しかし、問題はここにあります。

ファンダメンタルの人々は、自分たちがキリストにあってどのような立場にあるかを知っていますが、それを実際に行使する信仰があまりありません。

一方、フル・ゴスペルの人々は信仰は十分に持っていますが、自分が何者であるかを知らないのです。

まるでこうです。

ある人は銀行にたくさんのお金を持っているのに、小切手の書き方を知らない。

もう一人は小切手の書き方は知っているが、銀行に残高がない。

この二人を一緒にできたら、と私は思うのです。

あなたが、自分が神の息子、神の娘であることを理解し、

その預け入れがカルバリでなされたことを知り、

手に小切手帳を持っていることを悟るなら、

そこに何を書いてもよいのです。

神はそれを引き受けると約束しておられます。

それは銀行にあるのです。

カルバリで預けられたのです。

あなたの救い、聖霊のバプテスマ、

あなたの心配、重荷が取り去られること、

そしてあなたがた一人ひとりが完全に癒されること——

それはすでに神の御前で贖われており、

主は父の右に座して、あなたの告白に基づいてとりなしをしておられるのです。

21 私はバプテストですが……ただのバプテストではありません。

いわば「ペンテコステ派のバプテスト」です。聖霊を受けましたから、少し様子が変わりました。

兄弟姉妹よ、主が死によって成し遂げてくださったすべてに、私が権利を持っていると考えると——それだけで叫びたくなります。

主はそれをカルバリという預け入れの場所に置き、私に小切手帳を渡して言われたのです。

「欲しいものを書きなさい。わたしが責任を取る。ただ、わたしのもとへ差し出さない。」

ああ、何と素晴らしいことでしょう。主はそこで、とりなしをしておられるのです。

さて、どのようにして救われるのでしょうか。

子どもにも分かるほど単純に考えてみましょう。

あなたがどの教会に属しようとして、正しい牧師であれば、こう教えるはず——救いは行いによるのではなく、信仰によるのだと。

あなたは、主があなたを救われたと信じます。

それはまず心から始まります。心で信じるのです。

それから前に進み、こう告白します。

「私はイエスを私の個人的な救い主として受け入れます。主が私を救われたと信じます。」

外から見て、救われた証拠となる物理的なものは何もありません。

目の色も変わらないし、同じ服を着ています。

外に出れば、昔の仲間と言うでしょう。「そんなの、何も変わってないじゃないか。」

そのとおりですね。

彼らは父なる神を信じていました。

しかし、主が父から遣わされた御子であることを信じなければならなかったのです。

主は父そのものではなく、父から遣わされた御子でした。

私は父でも、子でも、聖霊でもありません。

私は一人の人間です。

あなたの兄弟です。

私の奉仕が超自然的な存在によって証明されているのであって、

それは私自身ではありません。

神から来られた主の御使いが、これらの祝福をあなたに届けるために働いておられるのです。

あの電灯が「自分は何と立派な電線だ」と言えるのでしょうか。

電線自体には何の力もありません。

光を放つのは電線ではなく、その中を流れる電流です。

私はその電線のようなものです。

どこかから電流が流れなければ、私には光はありません。

私がイエス・キリストと神に栄光を帰していることが分かりますか。

それは私から出ているのではなく、主から出ているのです。

どうか信じてください。

48 さて、日曜日の夜の集会の終わりに——

もし心の秘密が明らかにされず、

病人が癒されず、

口のきけないろばでさえ、道に立つ御使いを見たのです。

今夜、神がその覆いを取り除き、私たちすべての目を開いてくださいますように。

エリヤがドタンで言ったように、

「私たちと共にいる者は、彼らよりも多い。」

ゲハジは言いました。

「私たちは二人だけです。あちらには大軍がいるではありませんか。」

エリヤは祈りました。

「神よ、この若者の目を開いてください。」

すると、その預言者の周りには火の戦車があり、山々は火に包まれ、火の御使いたちが満ちていました。

そのとおりですね。

主は昨日も今日も、いつまでも変わることはない方です。

理屈で考えようとせず、ただ受け入れてください。

47 私は、あなたに神を信じてほしいのです。

キリストを信じてほしいのです。

聖霊を信じてほしいのです。

そして、私が語っていることが真実だと信じてほしいのです。

もし神を信じ、キリストを信じ、聖霊を信じて、私が語ったことが真実であると信じなければ、その益を受けることはできません。

分かりますか。

かつて神を信じ、神に熱心であった人々が、イエスを殺しました。

しかしイエスは言われました。

「あなたがたは神を信じている。わたしをも信じなさい。」

しかし、あなたは何かが起こったと信じていますね。

「様子を見てみよう」と言うなら、決してうまくいきません。

あなたがその証しを持ち続けるまで、働きません。

自分は救われたと信じる。

救われた者のように生きる。

救われたと語る。

救われた人々と交わる。

そうすると、救いは働き出します。そうですね。

同じことが、神の癒しにも言えます。

あなたは癒されたと信じる。

主が癒されたかのように行動する。

癒されたと語る。

そして主は、あなたの告白の大祭司として、

あなたが父の前で「主がしてくださった」と告白するすべてのことを、成就してくださるのです。

そこにあるのです。

22 私は肉腫の癌を見てきました……。

兄弟姉妹よ、地上の王や支配者たちは、狂信のために呼び出すことはありません。あなたもそれを知っているでしょう。

しかし、私がここに立って言うのは真実です。

それは神の永遠の真理です。

あなたがそれを信じ、その信仰に基づいて行動するなら、神はそれを成し遂げてくださいます。

さて、誰かがこう言うことがあります。

「私はあなたに手を置くことができる。私の手にはあなたを癒す力がある。」  
もし誰かがそう言うなら、その人は真実でないことを言っています。

この世に、人を癒すことのできる者は一人もいません。

癒しは、全能の神からのみ来るのです。

イエス・キリストご自身でさえ、ご自分を癒し主とは主張されませんでした。

主は言われました。

「わたしが業を行うのではない。わたしのうちに住まわれる父が業を行うのだ。」

もし神の御子でさえ、ご自分を神の癒し主と主張されなかったなら、ましてや人間がどうしてそう言えるでしょうか。

人は、キリストがすでに成し遂げられたこと以上のことを行うことはできないのです。

23 どんな人でも、あなたを救うことはできません。

どれほど祈ってくれても、救われるのは信仰によってです。

同じように、どんな人もあなたを癒すことはできません。

癒されるのも信仰によるのです。

本来なら、御言葉を読めばそれで十分なのです。

説教者がいなくても、そこに立って御言葉を読み、それを信じればよいのです。

しかし神は愛です。

だからこそ、神は説教者を遣わし、彼らに油注ぎを与えます。

彼らは御言葉を説き、御言葉に基づいて語り、聖霊のバプテスマや新しく生まれることを宣べ伝えます。

あなたはそれを信じ、受け入れ、新しく生まれるのです。

十四日十四夜、星も月も見えず、海の上で漂流し、助かる望みも尽きていたとき、

彼は甲板から戻ってきてこう言いました。

「皆さん、元気を出しなさい。

私が仕えている神の御使いが、昨夜私のそばに立って、命を失う者は一人もいないと告げられた。

だから私は神を信じる。示されたとおりになる。」

彼は誰が告げたと仰いましたか。

「私は知恵を持っている」とは言いませんでした。

「私が仕えている神の御使いが立った」と言ったのです。

46 ヨハネ黙示録を書いたヨハネが聖霊を受けていたと信じますか。

主は言われました。

「わたしイエスは、これらのことを証しするために、わたしの御使いを遣わした。」

そのとおりですね。

黙示録全体は、主の御使いによってヨハネに示されたのです。

ヨハネはその御使いを拝もうとしましたが、御使いは言いました。

「それをしてはならない。わたしはあなたや預言者たちと同じしもべである。」

そのとおりですね。

歴代の預言者たちの上にあった預言の御霊が、ヨハネを通して預言し、御使いによってそれを示したのです。

そしてその同じ御霊が、今夜この建物の中におられます。

もしあなたの目が、昔のバラムのように覆われているなら――

聖霊を信じますか。

それは素晴らしいことです。

あなたはクリスチャンです。

しかし、この神の賜物の祝福を受け取るためには――

この御使いが……

もしかすると、あの池の水の上に現れた御使いかもしれません。

あるいは、パウロと共にいた御使いかもしれません。

私は分かりません。

しかし、主の御働きは今も続いているのです。

45 ある人は言います。

「新約聖書には御使いはいない。教会を導いたのは聖霊だ。」

それは確かに真実です。

しかし兄弟よ、御使いはどの時代にも仕える霊として働いています。

新約聖書に御使いがいと信じますか。

ピリポの場合はどうでしたか。

彼に現れ、ガザの荒野へ行くように告げたのは誰でしたか。

聖霊でしたか、それとも主の御使いでしたか。

主の御使いでした。そのとおりですね。

ペテロは聖霊を受けていたと信じますか。

ヨハネ・マルコの家で祈祷会をしていたとき、光のように輝いて現れ、彼の鎖を解き、外へ導き出したのは聖霊でしたか、それとも主の御使いでしたか。

主の御使いでした。そのとおりですね。

聖パウロが聖霊を受けていたと信じますか。

そのとおりですね。

同じことが、神の癒しにも言えます。

あなたは神の癒しを信じるべきです。

しかし、もしまだ信じられないなら、神は神の癒しを説く奉仕者を遣わします。

あなたはそれを受け入れ、信じ、そして癒されるのです。

24 さて、これらの働きが長年続けられてきましたが、神はその憐れみによって、もう一つのことを私たちのためにしてくださいました。

それは、栄光のうちから御使いを遣わし、神の預言的賜物をその民に現しただけのことです。

それは、あなたを癒すものではありません。

しかし、あなたの信仰を高め、イエス・キリストからの癒しを受け取れるところまで引き上げるためのものなのです。

さて、多くの方がご存じでしょう。

主の御使いが私に現れた話を聞いたことがある方はどれくらいおられますか。手を挙げてみてください。

――ここにおられるほぼ半分の方ですね。

愛するクリスチャンの皆さん、これから祈りの列を始める前に、はっきりと理解していただきたいことがあります。

私は神の癒し主であると主張しているものではありません。

私があなたのためにできることは何もありません。

愛する兄弟姉妹よ、ただ祈ることしかできません。

そして、どの人間もあなたを癒すことはできません。

癒しは神にのみあります。

それをご存じですね。

癒しは神から来るのです。

私は、それが神の御言葉に基づいていると申し上げています。

そして「実際に食べてみるのが、その証拠である」というように、  
証拠は結果にあります。

ここ数年の間に、あまりにも多くの人々が癒されてきました。

もはや疑いようがありません。

文字どおり、何百万という人々が癒されてきたのです。

25 私は、賜物と召しは取り消されることがないと信じています。

あなたもそう信じておられるでしょう。それは真実です。

すべての人があらかじめ定められているとは、私は考えていません。

しかし、神がある出来事をあらかじめ定めておられることは信じています。

そして、それは必ず成就します。

たとえば、私は神の恵みを信じています。

終わりの日に、しみも、しわもない教会が存在すると信じています。

それは神の御前において永遠に確かなものとして定められていると信じます。

しかし、その中に誰が入るのかは、私は知りません。

自分も、そしてあなたも、その中にいることを願っています。

けれども、それを断言することはできません。

私は信仰によって歩んでいるのです。

しかし、教会が存在することは信じています。

しみも、しわもない教会です。

その構成員が誰であるかは分かりません。

私は主イエスの御名によってそう言います。

私自身が何かであると主張しているのではありません。

私はあなたがたの中で最も小さい者です。

それを謙遜のために言っているのではありません。

心からそう言っているのです。

44 多くの兄弟たちは、この働きのために道を整えるため、街角に立ち、食べる物も十分でない中で子どもたちを育ててきました。

もし功績があるなら、それはあなたがたのものです。

私はただ、あなたがたが舗いた道を歩いているにすぎません。

ですから兄弟姉妹よ、どうか神の賜物を認めてください。

それは私だからではありません。

それはあなたのためのものです。

私はそれを見ることができのかもしれない。

そのために生まれたのかもしれない——実際そうでした。

しかし祝福は、あなた一人ひとりのためなのです。

だから信じてください。

通り過ぎさせてはなりません。

時は近づいています。

今夜、私たちにはあまり時間がありません。

どうかこれだけは信じてください——

私が真実を語っていると信じてください。

父なる神を信じますか。

御子イエス・キリストを信じますか。

イエスが再び来られるときも、私たちが考えている姿とはまったく違う形になるでしょう。

主は賢い者や悟りのある者の目から隠し、

幼子のように学ぼうとする者にそれを現されます。

それは霊的に理解されるものです。

どうか主があなたを祝福してくださいませうように。

心から、そう祈っております。

43 私には癒す力はありません。

しかし、人々がこの壇上に来るとき、あるいは会衆の中に座しているとき

私たちは祈りのカードを配ります。

それは混乱を避けるためです。

「順番をもらえなかった」「不公平だ」とならないようにするためです。

毎日カードを配り、その夜のカードの中からどこかの番号を呼びます。

それは、ここに並ぶ少数の方々のために整列するだけのことです。

それ自体が本質ではありません。

私は、聖書に手を置いて言います。

祈りのカードを持っていても、持っていなくても――

この建物の中にいるあなたが、毎晩、心から信じ、

私が語ったことが真実だと信じ、

イエス・キリストをあなたの癒し主として受け入れるなら、

神はこの会衆の中で、あなたに何が起こったのかを、私に示してくださいませう。

それでよろしいでしょうか。

しかし、聖書によれば、それは新しく生まれた者すべてであると信じています。

26 さて、癒しについてですが……。

この奉仕の歩みの中で、私はケンタッキー州の山間部、小さな丸太小屋で生まれました。

もしよろしければ、後ろに私の本がありますので、ご覧になってください。そこに詳しく記されています。

私の家族はとても貧しく、以前はカトリックでした。

両親ともにアイルランド系です。母はハーヴィー家、父はブラナム家。

血筋に変化があったのは、祖父がオクラホマのインディアンの女性と結婚したときだけで、そこで少しだけ混ざりました。

私は1909年4月6日、朝5時ごろに生まれました。

住んでいたのは小さな小屋でした。

本の中に写真があります。

皆さんのように立派な家の窓はありませんでした。

小さな板戸のようなものを押し開けると、それが窓代わりでした。

このあたりでは、そんなものを見たことがないかもしれませんね。

本当に小さな押し開ける窓でした……。

27 彼は荒野で叫ぶ者の声でした。

それを信じますか。

神はエレミヤに言われました。

「あなたが母の胎に形づくられる前から、わたしはあなたを知っていた。あなたを聖別し、諸国の預言者として定めていた。」

彼が母の胎から出る前に、です。

それを信じますか。

それなら、あらかじめ定められることを信じなければなりません。

それは恵みです。人の選びではなく、神の恵みによるのです。

さて、これを教え、そして真実であると知る唯一の方法は、聖書によることです。

なぜそのようなことが起こるのか——私は分かりません。

しかし後になって、それは現れ始めました。

出来事が起こる何か月も前に、ただ語られるのです。

(ここからそう遠くないジェファソンビルから来ている方も、今夜ここに座っておられるかもしれません。)

壇上にいる私のマネージャーも知っていますが、

出来事が起こる何週間も前に、私はそれを見るのです。

それは、今あなたがそこに座っているのと同じくらい自然なことなのです。

私はバプテストの牧師でしたから、そのことを同僚の牧師や長老たちに話しました。

すると彼らはこう言いました。

「ビリー、それから離れなさい。そんなものに関わるな。それは何百年も昔のことだ。私たちは別の時代に生きているのだ。」

そういう具合でした。

28 それは続き、ますます強くなっていきました。

私はジェファソンビルに小さな教会を持っていました。

教会から生活の支えを受けていたわけではありません。

インディアナ州でゲーム・ウォーデン(野生動物監視官)として働き、高圧線の巡回もしました。

しかし、もし私が何かを証しし、

天の父がそれを証明し、真実であると示されるなら、

そのときは主を信じてください。

それでよろしいでしょうか。

42 人は誰でもここに立って、何でも好きなことを言うことができます。

偽証したいなら、いくらでも言えるでしょう。

しかし、人が言うからといって、それが真実になるわけではありません。

しかし神が語られ、それを立証されるなら、それは真実です。

聖書にはこう書いてあります。

「二人または三人の証人の口によって、すべての言葉は確立される。」

そのとおりですね。

私は今夜、天の父が私の誕生のときに現れ、あなたがたを助けるために遣わされたと言いました。

そして今、主のしもべとして、あなたがたを助けるためにここに立っています。

それは、あなたの神学的な理解とは違うかもしれません。

神はしばしば、人々が思い描く方法とは違うやり方で事をなさいます。

祭司たちを見てください。

彼らは、イエスがあのように来られるとは信じられませんでした。

飼い葉桶で生まれるなど、思いもしなかったのです。

神はいつもそのようにしてこられました。

大洪水の前の時代もそうでした。

そして、兄弟なる聖職者の皆さん、私の思いでは、

それはモーセ自身ではなく、神の御使いでした。

そのとき、どのような姿で現れましたか。

火の柱でした。そうですね。

その火の柱がイスラエルの子らを導きました。

どの聖書学者も、それが契約の御使い、すなわちキリストであったことを知っています。

そのとおりです。

そして主は昨日も今日も、いつまでも変わることはない方です。

かつて肉体をもって教会を導かれたように、

今は霊のからだによって私たちを導いておられるのです。

#### 41 この超自然的な存在——

それは写真によっても確認され、アメリカ写真家協会の審査を受け、さまざまな検証を経て証明されたものです。(それについては後ほど紹介いたします。)

今夜、ここに私たちと共におられます。

クリスチャンの皆さん、そして友よ、私は今夜、トレドのこの地に、イエス・キリストの御名によって来ています。

私は主のへりくだったしもべとして、主を代表してここに立っています。

私自身の中には、あなたを助ける力は何もありません。

しかし主はここにおられます。

そして、あなたが主を信じ、受け入れることができるように、御業を行う力も、またその御心も持っておられます。

もし私が語る事が成就しないなら、私を信じてはなりません。

そのとき私は偽り者です。

私は一生働いてきました。

これまで一度も献金を集めたことはありません。

教会が支える気がなかったからではありません。

私が働けるなら、なぜ働かないのか、というだけのことでした。

年月が過ぎました。

数日のうちに、もしかすると日曜日の午後など、もう少し時間のあるときに、この話を詳しくお伝えできるかもしれません。

今はこの暑い建物の中で、あまり長く引き留めたくはありませんから。

しかし、皆さんが冷静に理解できるように、背景だけはお話ししなければなりません。

これは何なのか——そのことを知っていただきたいのです。

そして、ほかの人にも伝えてほしいのです。

もし批判を耳にしたなら、それに対してきちんと説明できるように。

あなたが理解していれば、相手も理解できるのです。

#### 29 やがて私が回心してからは、それは以前にも増して強くなりました。

1937年の大洪水のことを、あらかじめ告げました。

何百人もの人がそこに立ち、笑い、顔を背けました。

私は「通りの上に二十二フィートの水が上がる」と語りました。

幻の中でそれを見たのです。

彼らは言いました。「あの若者は気が狂った。」

しかし、数週間後、インディアナ州ジェファソンビルのスプリング・ストリートには、実際に二十二フィートの水が押し寄せました。

そのように、次々と示されていったのです。

そして聖霊のバプテスマを受けてからは、それはさらに強くなりました。

しかし私は、あまり深く気に留めていませんでした。

ところがある日、それがあまりにも私に迫ってくるようになり、人々は「そんなことは忘れなさい」と言いました。

私自身も、それを避けようとしていたのです。

30 私は小さな小屋へ行きました。

長年、ジェファソンビルのバプテストのボーイスカウト隊の隊長をしておりました。

そのボーイスカウト・キャンプの中に、私の小さな小屋があったのです。

そこへ行って祈りました。

時には一晩中祈り、あるいは昼夜続けて祈ることもありました。

その夜、午前二時から三時ごろだったでしょうか、私は神に願いました。

「もう二度と、それを私の前に現さないでください。」と。

「もしかしたら、私は間違っているのかもしれない。」とも言いました。

そしてそのとき、初めてそれを受け入れたのです。

私は言いました。「私は分かりました……。」

人々は言いました。

「それは悪魔の働きだろう。」

私はそれを押しのけようとしていました。

しかしそのとき、あることが思い浮かびました。

聖書のこの箇所はその瞬間には浮かびませんでしたが、

イエスがユダヤにお生まれになったとき、祭司たちや宗教指導者たちは、上着にどんな飾りをつけるべきかなどを議論していました。

その一方で、博士たちは星に導かれていました。

その星は、すべての天文台や観測所の上を通り過ぎました。

そのとおりです。

そして数百年後、その同じ霊がバプテストのヨハネの上に現れました。

そのとおりです。

さらに、終わりの日に再び現れると預言されています。

そのとおりです。

神は人を取られますが、御霊は取られません。

御霊はここにとどまります。

その御霊が去るとき、教会も去ります。

そのときは、もはや救いはありません。

憐れみも終わりです。

御霊が去るのです。

40 聖霊は使徒たちの上にはありました。

そして今夜も同じ聖霊がおられます。

神は人を取られますが、御霊は取られません。

もし私が、ある有名な無法者の霊を持っていると言えば、あなたは私がその人のように振る舞い、その人のような油注ぎを持つと期待するでしょう。

もし有名な画家の霊を持っていると言えば、このキャンバスを張り、あの湖の波や泡を描けるはずだと期待するでしょう。

もし本当にその霊があるなら、そうなるはずですよ。

では、もし私たちがイエス・キリストの御霊を持っていると告白するなら、イエスがなさったことを行うはずではありませんか。

イエスは言われました。

「父が示すこと以外、わたしは何もできない。」

さて、主の御使いがモーセに現れたとき――

たがたのうちにあって、世の終わりまでいるからである。」

そのとおりですね。

イエス・キリストは昨日も今日も、いつまでも変わることはない方です。

もし私が「私がこれらのことをしている」と言うなら、それは偽りになります。

私はしていません。

イエス・キリストが、ご自身の主権の恵みと憐れみによって、私に示してくださいます。

それは私のためではありません。

私の癒しではなく、あなたの癒しなのです。

主は御言葉を送り、奉仕者を送り、

そして今、民の信仰を高め、主を信じるようにするために、預言的賜物を送ってくださったのです。

もしこれが憐れみでなく、もしこれが恵みでないなら、何が恵みでしょうか。

39 さて、よく聞いてください。

もし私が今夜あなたのところへ来て、「私は犯罪者ジョン・ディリンジャーの霊を持っている」と言ったとしたら、あなたはどう思いますか。

きっと私は大きな銃を持ち、無法者のように振る舞うはずだと期待するでしょう。

もし本当にその霊が私の上にあるなら、私は彼と同じことをするはずですよ。

ご存じですか。

神はその御霊を地上から取り去られることはありません。

神は人を取られますが、御霊は取られないのです。

エリヤが取り去られる前に、エリヤの上にエリヤの霊の二倍の分が下りましたね。

しかし、その星を見たのはあの三人の博士だけでした。

そうですね。

歴史の中にも、その星を見たという記録はありません。

エルサレムやベツレヘムの通りには信者も歩いていました。

けれども、その星を見たのは博士たちだけでした。

それは、ヤコブの星が昇るのを待ち望んでいた博士たちのために送られたのです。

なぜ祭司や聖なる人々はそれを見なかったのでしょうか。

それは、彼らのためではなかったからです。

31 そして主が成長し、神の油注ぎを受けて良い業を始められたとき、悪霊を追い出されるようになると、祭司や宗教指導者たちは何と言ったのでしょうか。

「彼はベルゼブルだ。悪霊につかわれている。」

つまり、霊媒だと言ったのです。

主が人々の心の中を知っておられたときも、彼らは言いました。

「人の心を読んでいるだけだ。ベルゼブルだ。」

そのとおりですね。

「悪霊のかしらであるベルゼブルによって悪霊を追い出しているのだ。だからあんなことが分かるのだ。彼は悪霊のかしらだ。」と。

パウロとバルナバ(またパウロとシラス)が宣教していたとき、ある占いの霊につかれた若い女が町で叫びました。

宗教家たちは言いました。

「彼らは悪魔の者だ。世をかき乱している。偽物だ。」

しかしその占いの女は言いました。

「この人たちは神の人で、いのちの道を教えてくれる。」

しかしパウロは、その女の中にあつた占いの霊を叱責して追い出しました。  
そのとおりですね。

32 そして私は思いました。

「もしかすると、今日もまた、人々はそれを見分けられずにいるのではないか。」と。

そして私は祈りました。

「神よ、もし私が間違っているのなら、どうか赦してください。」

33 私は祈り終えたかどうかというその瞬間、床の上に光が現れるのを見ました。

顔を上げると、その上にあの渦巻く光がありました。以前と同じように、そこにあり、回転していました。

しかしその夜は、生涯で初めてのことが起こりました。

それは何百回も私に語りかけてきましたが――

そのとき、誰かが歩いてくる足音を聞いたのです。

振り向いたとき、恐ろしくなりました。あなたでもそうなったでしょう。

幻ではありませんでした。

私が今ここに立っているのと同じほど自然に、一人の男性が歩いて来ました。

体重は二百ポンドほどでしょうか。

腕を組み、力強そうな方でした。

穏やかな顔つきで、とても落ち着いておられ、

肩まで届く黒い髪、ひげのない滑らかな顔でした。

その方は私のところまで来て、少し哀れむようなまなざしで見下ろし、こう言われました。

「父よ、あなたがすでにわたしの願いを聞いてくださったことを感謝します。」

ラザロのところへ来てほしいと知らせが来たとき、主はすぐには行かれませんでした。

むしろそのまま留まりました。

そして言われました。

「ラザロは眠っている。」

さらに言われました。

「彼は死んだ。あなたがたのために、わたしはそこにいなかったことを喜ぶ。だが、わたしは彼を起こしに行く。」

つまり、主はすでに父が示されたことを知っておられたのです。

ご自身の言葉でこう言われました。

「父が示すまでは、何も行わない。」

そして神の御使いもこう宣言しました。

イエス・キリストは言われました。

「わたしのしていることを、あなたがたもする。」

それを信じますか。

もし主がご自分では何もできず、

何の功績も自分に帰さず、

ただ父が示されたことだけを行われたのなら、

それで決まりではありませんか。

38 その御霊は主の上にはありましたが、主は言われました。

「しばらくすると、あなたがたはわたしを見なくなる。しかし世はもはやわたしを見ないが、あなたがたはわたしを見る。わたしはあなたがたと共にあり、あな

キリストではありませんか。」

主は、口に銀貨をくわえた魚のいる場所もご存じでした。

しかし主は、ご自分が何かをしているとは主張されませんでした。

ベテスダの池のそばを通られたとき、そこには足なえ、目の見えない人、やせ衰えた人など、群衆がいました。

聖書は「大勢の人々」と言っています。おそらく何千人もいたでしょう。

その中に、二十八年間も病を患っていた一人の男が横たわっていました。

イエスは、その人がそこにいることを知っておられました。

主はその一人を癒し、群衆をそのままにして立ち去られました。

ヨハネ5章です。そのとおりですね。

ユダヤ人たちは主に問いました。

19節を聞いてください。

「まことに、まことに、あなたがたに言う。子は、自分からは何もすることができない。ただ父のしておられることを見て、それをするのである。父がなさることを、子も同じようにするのである。」

そのとおりですね。

イエスは、ご自分からは何もされませんでした。

神が何をなさるかを見て、それを行われたのです。

ヨハネ5章19節です。他にも多くの聖書箇所がありますが、これは真実です。

私たちはそれを信じています。

主は幻を見られたのです。

37 たとえば、ラザロの復活のときです。

主は祈られました。

「恐れるな。」

その声を聞いた瞬間、私は分かりました。

それは以前に語ったのと同じお方でした。

「たばこを吸ってはならない、酒を飲んではならない。」

私はその声を知っていました。

34 その方は言われました。

「わたしは全能の神の御前から遣わされた者である。

あなたの特別な誕生とこれまでの人生は、病人のために祈り、それを世界へ持って行くためのものであったことを告げるために来たのだ。

もし人々にあなたを信じさせ、誠実であるなら、あなたの祈りの前に立ちはだかるものは何もない。

あなたは世界のあらゆる場所へ行くことになる。

王や支配者、偉大な人々が来て祈りを求める。

大きなしるしと奇跡が起こり、驚くべきことが成し遂げられる。」

私は言いました。

「主よ、私は無学です。

小学校程度の教育しかありません。

私の家族は皆貧しく、私もその中にいます。

私は説教もできません。

言葉も十分に扱えません。

人々は私を信じないでしょう。

私は自分の言葉さえうまく操れません。」

つまり、人々が私を信じるはずがない、という意味でした。

その方は言われました。

「わたしがあなたと共にいる。」

私はなお言いました。

「しかし、彼らは私を信じないでしょう、主よ。」

その方は言われました。

「預言者モーセがその召命を証明するために二つのしるしを与えられたように、あなたにも二つのしるしを与えられる。

これまであなたの人生の中で見てきた幻が、今や賜物として与えられる。

最初は、人々の手を取りなさい。

あなた自身は何も言う必要はない。

それが人々に語るであろう。

彼らのどこが悪いのか、どんな病を抱えてきたのかを。

もしそれでも信じないなら、次に彼らの心の奥深くの秘密、まさにそのことを語るであろう。

これによって、彼らは信じるようになる。」

35 私は尋ねました。

「それはどこから来るのですか。」

そのとき、私はなお疑いを抱いていたのです。

その方は言われました。

「あなたは理解していないのか。

それは、私たちの主イエス・キリストによるのだ。」

ピリポがナタナエルを見つけ、ナタナエルが主のもとに来たとき、彼は最初から信じていたわけではありません。

主は言われました。

「見よ、まことのイスラエル人である。」

あなたはその聖書の箇所をご存じですね。

ナタナエルは主を見て言いました。

「ラビ、いつ私をご存じになったのですか。」

主は答えられました。

「ピリポがあなたを呼ぶ前、あなたがいちじくの木の下にいたとき、わたしはあなたを見た。」

その瞬間、ナタナエルはひれ伏して礼拝し、言いました。

「あなたはキリスト、生ける神の御子です。」

そこに精神感応や霊媒はありません。

ベルゼブルもありません。

「あなたはキリスト、生ける神の御子です。」

36 井戸のほとりの女のときも同じでした。

主はしばらく彼女と語り、心を開かせました。

そして言われました。

「行って、あなたの夫を呼んできなさい。」

主は彼女の問題の核心に触れられたのです。

彼女は言いました。

「夫はいません。」

主は言われました。

「あなたには五人あった。」

すると彼女は言いました。

「来て見てください。私がしたことをすべて言い当てた方です。この方こそ